

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk) , Soma YOKOI



Monthly Theme

## 鉄骨が天然素材と共鳴する TYPE-Bの 白バージョン誕生

デイトナハウスの特長である、パウダーコーティングを施した鉄骨。新たに登場する艶消し白バージョンは、天然素材と共鳴して独特の雰囲気と抜け感のある空間を作り出します。

デイトナハウス×LDKと言え、艶消し黒の鉄骨が作り出す、男らしい洗った空間性を最前面に打ち出してきましたが、この粉体塗装焼き付け(パウダーコーティング)という技法は白色にも独特の雰囲気をもたらします。今回は規格住宅「TYPE-B」のホワイトバージョンを「ガレージ無しタイプ」の「OL(オープンライフ)」で紹介いたします。

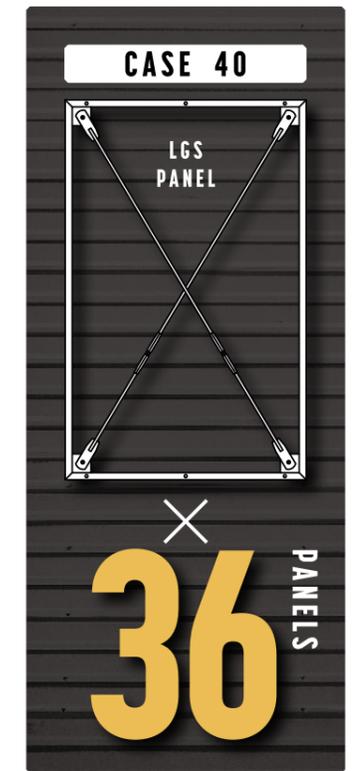
て、一定の仕上げ精度を保っているのです。艶が出たペンキ塗装の鉄骨は、皆さんも色々なところで見かけると思いますが、一気に鉄の魅力が半減したイメージになります。一方マットな風合いは、焼き付け塗装ならではのものです。耐久性とカッコよさを併せ持つ仕上げ方法。バイクやキャンプ用品に至るまで、マット塗装のカッコよさが再認識され始めています。艶がないことによって、鉄の素材感や重量感が素直に伝わってくる。厚みと重厚感、奥行きを感じさせてくれるのです。

この、奥行きのある白の素材感はナチュラル系の床材と実によく共鳴して、清々しさをいつまでも保つ、飽きのこない空間を作り出します。観葉植物を多めにディスプレイすることで、さらにナチュラルで飽きのこない空間性は完成するのです。

この、奥行きのある白の素材感はナチュラル系の床材と実によく共鳴して、清々しさをいつまでも保つ、飽きのこない空間を作り出します。観葉植物を多めにディスプレイすることで、さらにナチュラルで飽きのこない空間性は完成するのです。

デイトナが提案する  
新しい建築のカタチ

**DH×L**  
DAYTONA HOUSE×LDK



### What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

[www.daytona-house.com](http://www.daytona-house.com)

● INFORMATION  
**LDKinc.**

代表: 玉田 敦士  
[www.ldk.co.jp](http://www.ldk.co.jp)  
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデューサー会社LDK inc. 建築設計はもろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

### 2F INTERIOR

2Fの床を支えるトラス梁もデイトナハウスの特長です。言わば“手作りの梁”。今では滅多にお目にかかりません。この愛すべきローテクが長い間の愛着を保証してくれるのです。庭に面した大開口のダブルブレースも空間にアクセントを与えてくれ、北欧家具とも相性抜群です。



### FLOOR PLAN

このプランはTYPE-BのOL (OPEN LIFE) と呼んでいるタイプです。ガレージが別となる分、広々とした吹き抜け空間が持ち味です。また2Fはあえて初めから間仕切りを設定せず、住まい手が自由に空間を分節できるように設定。メインベッドルームは1Fに配して、2Fは家族構成や家族の成長に合わせて間仕切りを考える。スパンが飛ぶ、鉄骨住宅ならではの自由性なのです。

